

**スポーツのまち「利府町」を強く推進していくため  
「利府町スポーツによるまちづくり ‘キックオフ’ 宣言」  
を行いました**



3月23日(土)利府町文化交流センター「リフノス」にて、「令和5年度スポーツによるまちづくりシンポジウム～女性が輝くまちづくりのために～<第2回>」を開催しました。

当日は、町内外から130名の方が来場し、第1部では元卓球女子日本代表の福原愛さんと熊谷町長によるクロストークが行われ、宮城県での思い出や現役時代のお話、アスリートを取り巻く環境などをお話いただきました。

また、第2部では、各種スポーツイベントやスポーツ施策をとおり、全ての世代がスポーツを楽しめる環境づくりをより一層進めていく

**「利府町スポーツによるまちづくり ‘キックオフ’ 宣言」**を行いました。

宣言後、世界規模のサッカー競技大会の開催地にちなみ、サッカーボールを‘キックイン’して「スポーツによるまちづくり」の発展を祈念するセレモニーを行いました。

第3部では参加者によるワークショップを行い、「女性をはじめ全ての方がスポーツを楽しむ環境づくりの検討」をテーマに、全ての方がスポーツを楽しむために必要な取り組みについて参加者それぞれが提案し、その内容を発表しました。

提案された内容は、今後提言書としてまとめられ、町のスポーツ施策に反映してまいります。

【その他】「利府町スポーツによるまちづくり ‘キックオフ’ 宣言」の内容については別紙のとおりです

# 利府町スポーツによるまちづくり **‘キックオフ’** 宣言

本町は、令和3年3月に策定した利府町総合計画において「もっと先へ、チャレンジ利府!～みんなの夢がかなうまち～」をスローガンに、町民の皆様が将来にわたって幸せを実感し続けることができる「持続可能なまち」への発展を目指しています。

しかしながら、近年は人口減少・少子高齢化が激化し多くの自治体の存続が危ぶまれる中、また、新型コロナウイルスをはじめとする感染症や大規模災害の発生等によって、新しい暮らし方や働き方への対応とともに、ICTの進展など社会全体の大きな変革にも対応しながら、地方創生や共生社会の実現を進めて行かなければなりません。

人口減少や少子高齢化の問題や、感染症の拡大等はスポーツ分野においても重大な影響を受けておりますが、苦境に立たされ苦難を乗り越えようとするときに、スポーツは私たちに必ず勇気と希望を与えてくれます。さらに、何度も立ち上がり前に進む大切さを教えてくれるのもスポーツの力であると捉えております。

スポーツを「する人」「みる人」「ささえる人」が一丸となって、豊かな心と高い志をもち、チャレンジ精神をもって新たなスポーツ文化の創造に邁進し、町民が生涯にわたり、スポーツに親しみ、ともに活動することで、ふるさと利府への誇り—シビックプライド—が生まれ、スポーツをいつくしむ地域社会を形成していくために、町では、5つの柱となる目標をもとに「スポーツによるまちづくり」を強力に押し進めてまいります。

- 1 利府町民の健康増進や子どもたちの運動・体力の向上、共生社会の実現等を図るため、**誰もが楽しめる運動・スポーツを推進**します
- 2 利府町におけるスポーツ振興の更なる発展を目指すため、**スポーツ推進を支える環境の整備・充実**を図ります
- 3 利府町ならではのスポーツを振興するため、**新たなスポーツ文化の創造**によるにぎわいの創出を行います
- 4 利府町は「持続可能なまち」を目指すため、**スポーツによる地域活性化**を行います
- 5 利府町は「**女性アスリート**を応援する施策」をとおして、**スポーツによるまちづくりを進めます**

以上、ここに宣言いたします。

令和6年3月23日 利府町長 熊谷 大